

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、下記項目につきましては非結核性抗酸菌症について適切な薬剤選択が重要であることから、菌種に応じた感受性検査へ変更させていただきます。
誠に勝手ではございますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

■ 対象項目

● 抗酸菌感受性検査

抗酸菌は結核菌と非結核性抗酸菌に大別され、非結核性抗酸菌は、その成長の速さによって大きく2つのタイプに分けられます。

一つは遅発育抗酸菌 (slowly growing mycobacteria: SGM) で、もう一つは迅速発育抗酸菌 (rapidly growing mycobacteria: RGM) です。

SGM には、MAC (Mycobacterium avium と M.intracellulare) や M.kansasii が含まれ、これらは非結核性抗酸菌症という疾患でよく検出されます。

一方、RGM は主に環境中に存在する菌ですが、中にはヒトに対して病原性を有する M.abscessus、M.fortuitum、M.chelonae など含まれています。近年では、M.abscessus は、MAC や M.kansasii に次いで感染報告が増えています。

非結核性抗酸菌症の治療には、長期間にわたり複数の薬を組み合わせる化学療法が必要となるため、適切な薬剤選択が非常に重要となります。

この為、非結核性抗酸菌の二つの菌群に対応した試薬を導入し、抗酸菌感受性報告より菌種に応じた報告形式へ変更させていただきます。

■ 変更期日

2025(R7)年 8月 1日(金)

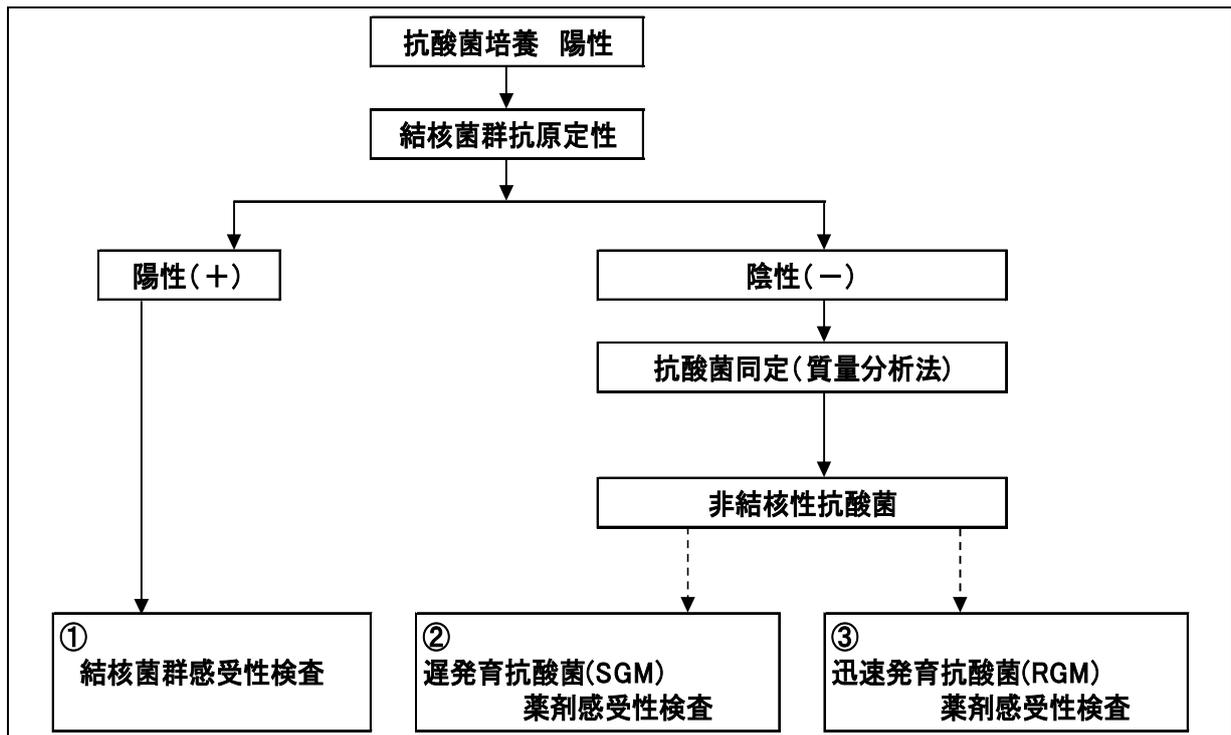
抗酸菌同定検査報告分より

■ 変更内容

	新	現
項目コード	842	同左
検査項目名	抗酸菌4薬剤以上*	同左
報告様式 (薬剤数)	結核菌群感受性検査 (9薬剤)	抗酸菌感受性検査 (11薬剤)
	遅発育抗酸菌感受性検査 (14薬剤)	
	迅速発育抗酸菌感受性検査 (14薬剤)	
実施薬剤	3頁および4頁をご参照ください	3頁をご参照ください

* ご提出材料が呼吸器系材料などの場合、836:抗酸菌分離培養と抗酸菌同定検査(854:結核菌群抗原検査および852:抗酸菌同定(質量分析法))を併せてご依頼ください。

▼ 抗酸菌感受性検査フローチャート



▼ 報告様式

抗酸菌同定(結核菌群抗原検査他)により同定された抗酸菌の菌種に応じた薬剤検査を実施いたします。

▼ 実施薬剤

【現実実施薬剤】

抗酸菌感受性検査

実施薬剤	対象菌種	結核菌群
SM	(ストレプトマイシン)	※1
EB	(エタンプトール)	※1
KM	(カナマイシン)	※1
INH	(イソニアジド)	※1
RFP	(リファンピシン)	※1
EVM	(エンビオマイシン)	※1
LVFX	(レボフロキサシン)	※1
TH	(エチオナミド)	※1
CS	(サイクロセリン)	※1
PAS	(パラアミノサリチル酸ナトリウム)	※1
PZA	(ピラジナミド)	※1

※1: 報告様式→S, Rにてご報告

【新実施薬剤】

① 結核菌群感受性検査

実施薬剤	対象菌種	結核菌群
SM	(ストレプトマイシン)	※2
EB	(エタンプトール)	※2
KM	(カナマイシン)	※2
INH	(イソニアジド)	※2
RFP	(リファンピシン)	※2
RBT	(リファブチン)	※2
LVFX	(レボフロキサシン)	※2
CPFX	(シプロフロキサシン)	※2
PZA	(ピラジナミド)	※3

※2: 最小発育阻止濃度MIC値(単位: $\mu\text{g}/\text{mL}$)およびS, I, Rをご報告します。

※3: 検査法が異なる為S, Rのみご報告します

② 非結核性抗酸菌薬剤感受性検査(遅発育抗酸菌:SGM)

実施薬剤	対象菌種	MAC ^{※4}	M. kansasii	MAC, M.kansasii 以外
CAM	(クラリスロマイシン)	●	●	●
AZM	(アジスロマイシン)			
MFLX	(モキシフロキサシン)	●	●	●
AMK	(アミカシン)	●	●	●
AMK(キュウ)	(アミカシン吸入)	● ^{※5}	—	—
MINO	(ミノサイクリン)		●	●
INH	(イソニアジド)			
EB	(エタンプトール)			
RBT	(リファブチン)		●	●
STFX	(シタフロキサシン)			
KM	(カナマイシン)			
DOXY	(ドキシサイクリン)		●	●
LZD	(リネゾリド)	●	●	●
TH	(エチオナミド)			
RFP	(リファンピシン)		●	●

※4: M. avium 及び M. intracellulare

※5: MACの場合は、AMKとAMK(吸入)の2種をご報告します。

③ 非結核性抗酸菌薬剤感受性検査(迅速発育抗酸菌:RGM)

実施薬剤	対象菌種	迅速発育抗酸菌
AMK	(アミカシン)	●
TOB	(トブラマイシン)	●
IPM	(イミペネム)	●
FRPM	(ファロペネム)	
LVFX	(レボフロキサシン)	●
MFLX	(モキシフロキサシン)	●
AZM	(アジスロマイシン)	
CAM	(クラリスロマイシン)	●
ST	(スルファメトキサゾール・トリメトプリム)	●
DOXY	(ドキシサイクリン)	●
MEPM	(メロペネム)	●
LZD	(リネゾリド)	●
CLF	(クロファジミン)	
STFX	(シタフロキサシン)	

上記表中の●は、最小発育阻止濃度MIC値(単位: μ g/mL)およびS, I, Rをご報告します。表中に●のない薬剤は、MIC値のみをご報告します。